

(1)社会科における昨年度の改善プランの検証

観点	検証
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・復習プリント、フォローアップワークシート、ICT機器を活用し、反復学習を行った。今後も継続していきたい。 ・電子黒板やタブレットPCなどのICT機器を活用し、学習に必要な情報を吟味して取り出し、活用を図るスキルを高めることができた。 ・授業の中で、内容と関連のある他の分野での学習内容や既習事項についてふれる機会を多く設定することで、知識の定着を図ることができた。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策で制限された部分が多く、思うように話し合い活動ができない場面も多かったが、意見交換などを行うことで考えが深まった。 ・発問を工夫することで、複数の視点から考えや意見をもつことができた。個に応じた支援策も行っていきたい。 ・思考力や表現力を高める取り組みをするために、基礎的な知識を効率よく定着させるために、ワークシートなどを工夫し、効率よく定着させる指導をすることができた。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学級に配布されている新聞やインターネットの情報などを適切に活用し、社会的な事象と学習内容とを結びつけて、興味・関心を高めることができた。 ・話し合い活動などの主体的な学習活動は制限される中であつたが、ICT機器などを使用することで、学習への意欲を喚起することができた。

(2)社会科の学習効果測定等における分析(内容別・観点別)

内容項目	分析
地理的分野	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は全体的には目標値を上回っているが、「我が国の農業や水産業」の正答率のみ下回った。 ・2年生は、全体的には目標値を上回っているが、「世界の諸地域」「日本の地域構成」の正答率は下回った。 ・3年生は、全体的には目標値を下回っているが、世界と比べた日本の地域的特色に関しては目標値を上回っている。
歴史的分野	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は、目標値を上回った。 ・2年生は、目標値を大きく上回った。 ・3年生は、戦国時代、江戸時代に関しては目標値を上回ったが、明治時代に関しては目標値を下回っている。

観点	分析
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は1.7ポイント目標値を上回った。 ・2年生は、3.3ポイント目標値を上回った。 ・3年生は、0.6ポイントほど目標値を下回った。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は、2ポイント目標値を上回った。 ・2年生は、6.6ポイント目標値を上回った。 ・3年生は、1.7ポイント目標値を上回った。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は、1.2ポイント目標値を上回った。 ・2年生は、4.7ポイント目標値を上回った。 ・3年生は、目標値を2ポイント上回った。

(3)社会科の学習効果測定等における課題

<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的・基本的な学習事項の着実な定着。学習したばかりの単元において、定着が出来ていないところがあった。 ・思考力などは伸びてきているが、知識・技能の面で単元によって定着にむらがある。

(4)社会科の具体的授業改善策

観点	具体的な授業改善策
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が興味をもって取り組めるワークシートや1問1答形式のプリントなどの作成に工夫を重ねる。また、グーグルフォームなどでのテストなどで何度も繰り返す学習ができるような環境整備をする。【知識】 ・電子黒板やタブレットPCなどのICT機器を活用し、学習に必要な情報を取捨選択して、活用を図り、発表活動などに使用できるようなスキルを高める。【技能】
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合い活動、学び合い活動などの場面を通して、自分なりの意見や考えなどをもち、それをタブレットPCなどを活用し、適切に表現、発表できるスキルを育成する。 ・発問を工夫することで、複数の視点からの考えや意見を持つことが出来るように指導をする。 ・思考力や表現力を高める取り組みに必要な時間を確保するために、タブレットPCなどを活用して基礎的・基本的な知識の定着を効率よくできるような指導の工夫を行う。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・学級に配布されている新聞やインターネット、テレビのニュースなど、社会で起きている身近な社会的事象と学習内容を結びつけることで、興味関心を高めて、主体的に学べるようにする。 ・話し合い活動や、意見をもつ活動を多く取り入れて、生徒が主体的に考え、自分の意見をもてる場面を多くとれるようにする。

内容項目	具体的な授業改善策
地理的分野 (1・2年)	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士、生徒と教員の対話的な学習機会を計画的に設定し、主体的に考え、表現する機会を増やしていく。話し合いやタブレットPCなどを活用した発表活動を通して、深く学習する姿勢を広げる。 ・学習効果測定で理解に不足が見られる内容[(2)参照]について、小テストなどで繰り返し学習する機会を設ける。
歴史的分野 (1～3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材や実物教材などの活用を推進し、興味関心を喚起することで主体的な学習態度を育成する。また、基礎事項を、電子黒板やICT機器も適切に活用し、確実に理解をさせるようにする。 ・歴史的出来事に関して、何故その出来事が起こったのかという背景、原因や、出来事が起こったことでどうなったかという結果の部分をつなげて考えることで理解を深めさせたい。 ・学習効果測定で理解に不足が見られる内容[(2)参照]について、小テストなどで繰り返し学習する機会を設ける。
公民的分野(3年)	<ul style="list-style-type: none"> ・実生活に根ざした話題や資料を活用することで、主体的に学習する姿勢をもたせる。 ・「効率と公正」の基づく判断力を育成する指導の中で、異なる考え方の資料を適切に提示し、多面的に自らの思考を深めさせる工夫をする。 ・地理・歴史の既習事項の復習及び、深化を図る学習活動を、できるだけ多く計画的に設定する。

学年	具体的な授業改善策
1学年	※上記の分野別改善策を参照下さい。(地理的分野・歴史的分野)
2学年	※上記の分野別改善策を参照下さい。(地理的分野・歴史的分野)
3学年	※上記の分野別改善策を参照下さい。(歴史的分野・公民的分野)